



成果指標				
成果指標	参加延べ人数(利用者数)			
指標設定の考え方	各サロンに独自性を持たせ、地域間を越えた積極的な参加を図ることにより、参加者の増加に繋げ、高齢者の自立等を支援する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	9,000人	9,000人	9,000人	0
実績	7,877人	8,202人	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度は、サロン数(H25・70ヶ所)が4ヶ所増え、開催回数、参加者延べ人数ともに増加した。高齢者と他者との交流やふれあいの場が提供されたことにより、孤独感や閉じこもり生活の解消が図られた。世話人であるボランティアスタッフの協力を得ながら、今後も継続して事業を実施していきたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	同事業は、サロン数が増え、開催回数、参加者延べ人数ともに増加している。今後も高齢者の孤独感や閉じこもり生活の解消を図るため、事業の継続は必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題